

早稲田大学大学院ファイナンス研究科

2012年度 4月入学 科目等履修生募集要項



早稲田大学 日本橋キャンパス

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビルディング(コレド日本橋)5階
早稲田大学大学院ファイナンス研究科 科目等履修生入試係

TEL 03-3272-6784

<http://www.waseda.jp/wnfs/>

2012年度 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 科目等履修生募集要項

1. 出願資格：次の各号のいずれかに該当することが必要です。
 - ①大学を卒業した者、および2012年3月までに卒業見込みの者
 - ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者、および2012年3月までに授与される見込みのある者
 - ③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2012年3月までに修了見込みの者
 - ④文部科学大臣の指定した者
 - ⑤大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または2012年3月(注1)までに卒業見込みの者で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと当研究科が認めた者(注1)
 - ⑥個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると当研究科が認めた者で、2012年4月1日(注1)に22歳以上の者(注1) 上記⑤・⑥で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、当研究科入試事務局(03-3272-6784)までお申し出いただき、その指示に従ってください。入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可します。
 2. 募集人員：若干名
 3. 選考方法：書類選考。科目によって口述試験実施の場合あり。
 4. 入学時期：各学期の始めに限ります(4月入学および9月入学があります)
 5. 在籍期間：入学した年度の3月15日まで。
 6. 履修可能科目：当研究科で科目等履修生用として指定する選択科目の履修が可能です。
※履修可能科目は、同封の「2012年度要項(科目等履修生用)」に掲載の科目となります。
※同封の「2012年度要項(科目等履修生用)」の各科目に記載されている「受講に必要な(事前の)基礎知識、スキルなど」に必ず目を通して、ご自分が該当されているかどうかを事前に必ず確認してください。
 7. 履修制限単位：年間12単位以内(春学期・秋学期各6単位3科目以内)
※1科目は2単位です(取得単位は累積され、正規生として当研究科に入学した場合は、12単位を上限に修了必要単位として参入可能です)。
 8. 出願手続：
 - (1) 出願期間：下記出願締切日の消印有効。

4月入学	(ご参考) 9月入学
2012年2月13日(月)～2月23日(木)	2012年7月30日(月)～8月17日(金)
 - (2) 出願方法 速達書留で提出書類を一括送付してください。
〈送付先〉 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 コレド日本橋5階
早稲田大学大学院ファイナンス研究科 科目等履修生入試係宛
- ★当研究科の正規生が、修了(卒業)と同時に、科目等履修生として引き続き在籍を希望する場合の出願、履修方法等については、上記入試事務局までお問合せください。
- ★科目等履修生として当研究科に4月入学した者が、当該在籍期間の後期に、科目の追加履修を希望する場合は、9月入学出願期間中に所定の履修許可願に希望科目名等を記入し、志望理由書、現在有効の学生証のコピーとともに提出してください(他の書類は提出不要、選考料は免除)。

(3) 提出書類

①科目等履修生入学志願票 (A～C票は切り離さずそのまま提出してください)

【A票】「A.専攻」と「H.都道府県コード」は記入不要、「B.受験区分」:一般履修生は01、委託履修生は02、「C.カナ氏名」:濁点、半濁点も1マス使用し姓と名の間を1マスあける、「E.性別」:男または女、「F.国籍」:国名、「G.漢字氏名」:姓と名の間を1マスあける、「学歴」:高校以降の学歴を記入。【B・C票】所定欄に氏名とふりがなを記入、「B票.写真欄」に顔写真を貼付(写真の裏面に氏名を記入)。

②履修許可願

★「2012年度要項(科目等履修生用)」(要項をお持ちでない方は事務所宛にご請求ください)に記載の『③受講に必要な(事前の)基礎知識、スキルなど』について、ご自身が満たしていることを必ず確認したうえで出願してください。

③志望理由書(所定の用紙に記名、捺印のうえ、PCにより作成したものを添付するの可)

★志望理由書については申請科目ごとにご記入のうえ、ご提出ください。(例:3科目申込の場合は3枚必要です)

④出身大学の卒業(見込)または修了(見込)証明書(大学院出身者は学部、大学院両方)

⑤出身大学の成績証明書(大学院出身者は学部、大学院両方)

⑥【委託履修生のみ】所属企業・団体からの委託書(所定の用紙に記名、捺印のうえ、PCにより作成したものを添付するの可)

⑦早稲田大学大学院ファイナンス研究科 入学志願者宛名ラベル(記入済みのもの)

(4) 選考料(入学検定料) **30,000円**

なお、以下の場合は、科目等履修生としての選考料を免除します。

① 当学の大学院の正規学生であった者が、引き続き科目等履修生として入学を志願する場合。

② 当研究科の科目等履修生が、引き続き当研究科の科目等履修生として入学を志願する場合。

③ 当研究科の2012年度4月入学試験(正規生入試)に不合格となった者が、2012年度4月入学の科目等履修生として志願した場合。

④ 当学の大学院への出願時点で国費外国人留学生として採用されることが決定している者が、科目等履修生として入学を志願する場合。

⑤ 経済協力開発機構(OECD)の開発援助委員会(DAC)が発行する、ODA受給国リストに最貧国または低所得国として掲載された国(以下「最貧国等」という。)に居住し、かつ最貧国等の国籍を有する者(重国籍の場合はいずれの国籍も最貧国等であること。)で、当研究科の科目等履修生として入学を志願する際、選考料免除の申請を行った場合(p.7～8参照)。

※①に該当する場合で、当研究科の科目等履修生として1年間在籍し、その次年度以降も引き続き入学を許可された場合は、選考料を免除します。

※②に該当する場合の選考料免除期間は、初めて科目等履修生として入学した翌年から2年間限りとします。

※③の該当者は出願の際、受験票のコピーを同封してください。

(5) 選考料の振込方法・期間

①選考料(入学検定料)はコンビニエンスストアよりお支払ください。お支払方法詳細は同封の『コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法』を参照してください。

②コンビニエンスストアで選考料(入学検定料)を支払う際、事前に専用サイト(<http://e-shiharai.net/>)により、氏名・生年月日等を入力していただきますが、その際は必ず「志願者ご本人の情報を入力する」ようにしてください。

③選考料(入学検定料)支払後、コンビニエンスストアより「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取り、「収納証明書」の部分を切り取り、それを入学志願票(A票)の裏面に貼付し、他の出願書類と同封のうえ、提出してください。

④選考料（入学検定料）の支払は、出願期間内であれば、24時間可能です（24時間営業の場合）。ただし、出願期間最終日の専用サイトでの申込みは23:00まで、コンビニエンスストア店頭での手続きは23:30までとなりますのでご注意ください。

※一度提出した書類および納入した選考料（入学検定料）等は、原則として、返還いたしません。ただし、以下のケースに該当する場合には、選考料（入学検定料）に限り返還いたします。

- A. 検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- B. 検定料を多く払いすぎてしまった。
- C. 出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に出願書類を提出した。

9. 選考方法・試験会場：書類選考（科目によっては口述試験の場合あり）

提出された書類に基づき、審査を行います。選考方法については書類選考となります。口述試験は希望科目等により、必要に応じて実施いたします。口述試験を行う場合は実施日・集合時間等を個別にご連絡いたします。

口述試験会場：東京都中央区日本橋1-4-1 コレド日本橋5F 早稲田大学日本橋キャンパス

注意事項（口述試験実施時）

- ・受験生は試験開始 20 分前には試験教室に入室してください。試験教室には受験票・筆記用具を持参し、受験票は机の上に置いて待機してください。
- ・各時限とも試験開始後 20 分を経過してからの入室は一切認めません。
- ・携帯電話等は電源を切ってください。また机には置かないでください。
- ・次のことをすると不正行為となることがあります。
 - カンニングをすること（カンニングペーパー・参考書等を隠し持つこと・使用すること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）。
 - 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
 - 試験時間中に携帯電話を身に付けること、使用すること。
 - 試験時間中に携帯電話や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - 志願者以外のもものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- ・不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - 監督員が注意をする、または事情を聴くこと。
 - 別室での受験を求めること。
- ・また、不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - それ以降の受験および当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - 当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

当学では入学試験の実施に際し、以下のような対応をとることがあります。あらかじめご了承ください。

○受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ①生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行ないません。
- ②試験中に携帯電話や時計などの音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
- ③机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ④他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。
- 不可抗力による事故等について
台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

【受験生の皆さんへお願い】

- ①万全の体調で試験に臨めるよう、普段から手洗いやうがいを慣行し、ご自身の健康には十分留意してください。
- ②入学試験会場でのインフルエンザ等感染症への感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- ③咳・くしゃみが出る方はマスクを着用する、咳エチケットを守るなど、周囲の方への感染防止にご配慮ください。

10. 合格者発表（郵送による）

4月入学	（ご参考）9月入学
2012年 3月 8日（木）	2012年 9月 6日（木）

上記発表日に可否通知および合格者には入学手続書類を発送いたします。

11. 入学手続締切日

(1) 手続期間

4月入学	（ご参考）9月入学
2012年3月21日（水）必着	2012年9月中旬予定

- (2) 必要手続書類:合格者発表日に発送する各書類(誓約書・保証書、学生カード、学籍データ入力用紙、住民票記載事項証明書、学費等振込領収証コピー)の他、写真2枚(タテ4cm×ヨコ3cm・志願票に使用したもの)。外国人の方の場合は外国人登録原票記載事項証明書または外国人登録済証のコピーも必要となります。

※手続書類一式を締切日必着で、書留便にて当研究科入試係宛にお送りください。

(3) 学費等

・ 入学金 **50,000円**

ただし、以下の場合は科目等履修生としての入学金を免除します。

A 当学の正規学生であった者が科目等履修生として入学する場合

B 科目等履修生が、引き続き科目等履修生となる場合(当学の大学院の正規学生が引き続き科目等履修生となる場合を除き、入学金を免除するのは、初めて科目等履修生として入学した年の翌年から2年間限りです)(入学手続の際、現在の学生証のコピーを添付してください)。

・ 聴講料 (1単位につき) 66,000円

※1科目の聴講料は、66,000円×2単位＝**132,000円**となります。

入学辞退による学費等の返還について

一度提出した入学手続書類および入学金、聴講料等は原則として返還しません。ただし、入学手続完了後、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、聴講料のみ金融機関を通じて返還します。（2012年5月中旬振込予定・ゆうちょ銀行口座を除く）

返還手続方法（郵送による手続はできません）

手続期間	2012年3月26日（月）～3月29日（木）
手続場所	当研究科事務所（早稲田大学日本橋キャンパス）
受付時間	10時～18時（手続期間最終日は15時まで）
手続に必要なもの	① 受験票 ② 入学辞退申請書（所定の用紙に記入・捺印済の原本） ③ 学費等振込領収証 ④ 保証人の同意書 （保証人の住所・電話番号および署名・捺印のあるもの、書式自由） ⑤ 印鑑（認印可） ⑥ 返還用の振込先口座番号等：日本国内の金融機関（郵便局を除く）で、 名義は本人または保証人名義に限ります。

- ◆意思確認のため、必ず合格者本人が当研究科事務所にお越しのうえ、返還手続を行ってください。
- ◆保証人の同意書には、必ず保証人（入学手続書類の「誓約書・保証書」で指定した者）の署名・捺印が必要です。
- ◆手続期間経過後の受付は認められません。
- ◆一度入学を辞退した後に、再度入学手続を行うことはできませんので、ご注意ください。

<特別措置について>

身体機能の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問い合わせください。

また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある方も、それが万一出願後に起こった場合でも、速やかにお問い合わせください。

<個人情報の取扱いについて>

当研究科では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際に、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

以上

ご不明点等がございましたら、下記入試係までお問合せください。

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 コレド日本橋5階
早稲田大学大学院ファイナンス研究科 科目等履修生入試係 Tel:03-3272-6784

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

1. 概要

当研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

2. 対象者

次の条件を全て満たす場合。

- 1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。
* 「ODA 受給国リスト (2008～2010 年版)」参照。
* 日本国内からの出願は対象外とします。
- 2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

3. 手続

当研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書（海外送金依頼書のコピー）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

- 1) 検定料免除措置申請書 (p. 8 の所定様式)
 - 2) パスポートのコピー (本人に関する記載事項の全ての欄)
- * 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。
* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[ODA 受給国リスト (2008～2010 年版)]

○最貧国 (Least Developed Countries) *49 カ国 (49countries)

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルundi、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、コンゴ、ジブチ、赤道ギニア、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、モルディブ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サモア、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア

○低所得国 (Other Low Income Countries) *12 カ国 (12 countries)

コートジボアール、ガーナ、ケニア、朝鮮民主主義人民共和国、キルギス、ナイジェリア、パキスタン、パプアニューギニア、タジキスタン、ウズベキスタン、ベトナム、ジンバブエ

2012年度 早稲田大学検定料免除措置申請書
Application Form for Screening Fee Waiver, 2012
Waseda University

申請日：_____年 _____月 _____日
 Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科：_____

Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying for.

出願者氏名：_____

Applicant's Name 姓(Family), 名(Given & Middle)

国 籍 1：_____

Nationality 1

国 籍 2：_____

Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所：_____

Current Address

該当国/Eligible Countries *ODA 受給国 (61 recipient countries of ODA, listed below as in 2008-2010)

[Least Developed Countries]

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, Congo, Dem. Rep., Djibouti, Equatorial Guinea, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Maldives, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Samoa, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Island, Somalia, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia

[Other Low Income Countries]

Cote d'Ivoire, Ghana, Kenya, Korea, Dem. Rep., Kyrgyz Rep., Nigeria, Pakistan, Papua New Guinea, Tajikistan, Uzbekistan, Viet Nam, Zimbabwe

早稲田大学大学院ファイナンス研究科
2012年度履修許可願

2012年 月 日

早稲田大学 大学院ファイナンス研究科長 殿

〒
現住所：

TEL： — —
(携帯)： — —

ふりがな
氏名： _____ ⑩

生年月日： 19 年 月 日生

貴研究科において（一般・委託）科目等履修生として、下記のとおり履修いたしたく、許可願います。

記

★「2012年度要項（科目等履修生用）」に記載の『⑩受講に必要な（事前の）基礎知識、スキルなど』について、ご自身が満たしていることを必ず確認したうえで出願してください。

履修希望科目名 <small>※クラスは科目名に A、B 等の区分がある場合に記入</small>	(曜日：時限)	単位数	学期 <small>※履修希望 学期に○</small>	担当教員
()			春・秋	
()			春・秋	
()			春・秋	
()			春・秋	
()			春・秋	
()			春・秋	
合 計	科目	単位	* 上限：年間で12単位以内 (各学期6単位3科目以内)	

